

平成29年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（前期）

試験区分	<ul style="list-style-type: none">■ 一般入試■ 外国人留学生特別入試
試験科目名	<ul style="list-style-type: none">■ 専門試験（ 中国文化論 ）□ 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>「選択A」は中国思想分野に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な中国思想、日本漢学に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では漢文を訓読する力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p> <p>「選択B」は中国語学・中国文学に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な言語学、中国語学史、中国文学史に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では広義の古漢語の読解力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p>

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 中国文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 3枚を配付する。

主として中国思想分野の修学を希望する者は【選択A】（1枚目～3枚目）を、
主として中国語学文学分野の修学を希望する者は【選択B】（4枚目～6枚目）を、
解答すること。

【選択A】

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から五項目を選び説明せよ。

龜卜・骨卜

『管子』

董仲舒

三蘇

心即理

王船山

足利學校

寛政異學の禁

問題二 次の文章をすべて書き下せ。

人生小幼、精神專利、長成已後、思慮散逸。固須早教、勿失機也。吾七歲時、誦靈光殿賦、至於今日、十年一理、猶不遺忘。二十之外、所誦經書、一月廢置、便至荒蕪矣。然人有坎壈、失於盛年、猶當晚學、不可自棄。孔子云、「五十以學易、可以無大過矣」。魏武・袁遺、老而彌篤。此皆少學而至老不倦也。曾子七十乃學、名聞天下。荀卿五十、始來遊學、猶爲碩儒。公孫弘四十餘、方讀春秋、以此遂登丞相。朱雲亦四十、始學易・論語。皇甫謐二十、始受孝經・論語。皆終成大儒。此並早迷而晚寤也。

〔顏氏家訓〕勉學篇

問題三 次の文章をすべて日本語に訳せ。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 魏月萍『君師道合 -晩明儒者の三教合一論述-』第五章,280～281頁,聯經出版,2016年7月

【選択B】

（問題用紙は3枚である。解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 中国語学を専攻する者は、A群から3項目、B群から1項目を、
中国文学を専攻する者は、A群から1項目、B群から3項目を選択し、
説明せよ。

- A群
- ・語用論
 - ・兼語構造
 - ・晋方言
 - ・五音
 - ・非鼻音化
 - ・今文
 - ・仮借
 - ・『廣雅疏證』

- B群
- ・詩六義
 - ・愈樾
 - ・元曲
 - ・論小説与群治之關係
 - ・武訓伝
 - ・漫画
 - ・志人小説
 - ・故事新編

問題二 次の文をすべて日本語に訳せ。

李獻臣好爲雅言曾知鄭州時孫次公爲陝漕罷赴闕先遣一使臣入京所遣乃獻臣故吏到鄭庭參獻臣甚喜欲令左右延飯乃問之曰餐來未使臣誤意餐者謂次公也遽對曰離長安日都運待制已治裝獻臣曰不問孫待制官人餐來未其人慚沮而言曰不敢仰昧爲三司軍將日曾喫却十三蓋鄙語謂遭杖爲餐獻臣掩口曰官人誤也問曾與未曾餐飯欲奉留一食耳

沈括『夢溪筆談』卷22「謬誤」

問題三 次の文をすべて日本語に訳せ。

問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：陈本益《汉语诗歌的节奏》，43-44頁，重庆大学出版社，2013年3月